

19. ひまわり

・殺菌剤（参考農薬）

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
NC	カリグリーン	散布	発病初期	-	花き類・観葉植物（きくを除く）
19	ポリオキシシAL水溶剤	散布	発病初期	8回以内	花き類・観葉植物
M10	モレスタン水和剤	散布	発病初期	10回以内	花き類・観葉植物（カーネーションを除く）

- 注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。
- 注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。
- 注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。
- 注4) 蚕毒・魚毒については、「28. 花き類の総括注意」も参照する。

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

病害虫名	防除時期	防 除 方 法	注 意 事 項
うどんこ病 (F)	生育期間	1. 通風を良くすることに努める。 2. 窒素過剰にならないようにする。 3. 激しく発病した葉は除去する。 [参考農薬] 1. カリグリーン 800 倍液、モレスタン水和剤 2,000～3,000 倍液、ポリオキシシAL水溶剤 2,500 倍液のいずれかを散布する。	
空洞病 (B)	は種前 生育期間	1. 培土は蒸気消毒などを実施して無病土を必ず用いる（土壌消毒の項参照）。 2. 育苗箱や鉢は、よく洗浄する。 3. ほ場の排水性向上に努める。 4. 発病株は抜き取り、ほ場外に埋却する。	